

unicef file

データから見る成果

Tanzania

[001] 出生登録 - タンザニア

●タンザニアの基礎データ(国別) 94.5万平方キロメートル(日本の約2.5倍) | 人口5,182万人(2014年・世界) | 5歳未満死亡率: 49/1,000 | 出生: 1,000人あたり(2015年) | 乳児死亡率: 35/1,000人あたり(2015年)



出生登録証を誇らしげに見せる親子
©UNICEF/Tanzania

「存在しない子ども」の救をゼロに

皆さまのサポートを最大限の成果につなげるべく、世界のユニセフの現場では問題解決のためのさまざまな取り組みが行われてきました。

今回は出生登録について。出生登録は、子どもがその国に存在していることの証明です。これがないと、予防接種や教育が受けられない。年齢が証明できないために児童労働や児童婚の被害を受ける。など人生に大きな影響を及ぼします。

さまざまな原因によって出生登録が進まない途上国が多いなか、スマートフォンを利用した取り組みを導入して大きな成果を上げた国があります。

四週間 で22万人の出生登録

アフリカで最も出生登録率が低い国



2人の子どもの出生登録をおお喜びする家族 ©UNICEF/Tanzania

のひとりで、それがタンザニアです。生まれやすく出生登録をするのは全体の11・5%。5歳未満の子どもでも13%に届きません。そこでユニセフとタンザニア政府は、2016年にスマートフォンを使った出生登録を試験的に開始しました。すると、対象地

のイリガ州とスゾンベ州において、四週間であなんと5歳未満児22万人以上が登録を完了。この2州でわずか10・3%だった出生登録率が95%以上にまで伸びたのです。この飛躍的な成功の裏には、住民登録手続から遠ざけていた問題へ、地道な8つの取り組みがありました。

1 出生登録所を増やす

以前は限られた場所でしたか手続きができませんでした。が、保健施設や区役所などに出生登録所を大幅に増やしました。両州合わせて11カ所だった登録所が70カ所以上にまで増設。保護者が自宅近くで手続きできるようになりました。

2 出生登録の無償化

登録の手数料(3,000タンザニア・シリング、日本円で約1,200円)は月1回の為替レートによる廃止、保護者の経済

出生登録

3 手続きの簡素化

「最低でも3度は登録所に行かなければならなかった手続きを簡素化し、一

4 地域住民への啓発

「なぜ出生登録が子どもたちのために必要なのか?」や実際の手続きの方法

5 スマートフォンの導入

スタッフスマートフォンを使って

誰ひとり取り残さない

この成功を受けて、現在さらに8州へこの取り組みを拡大しています。最終的にはタンザニア全土での導入を目指しており、ユニセフは今後も財政的技術的な支援を継続していきます。

こうして出生登録が進むこのメリットは計り知れません。正確な子どもたちのデータを政府が把握できれば、予防接種や教育など必要な公共サービス構築を行うことができます。「存在しない子ども」の数をゼロにし、誰ひとり取り残されることなく、健全な成長を遂げる一歩の礎となるのが出生登録なのです。

世界の出生登録率

